

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	上富自推第203号
		決裁期日	令和3年8月31日
名称	第2回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日時	令和3年8月24日（火） 18時30分～19時45分		
場所	役場3階 第2会議室		
出席者	協働のまちづくり推進委員10人（別紙名簿のとおり） 齊藤町長 事務局：町民生活課 星野課長、自治推進班 新井主幹、佐藤根主事 合計14人		

**[進行：事務局（町民生活課長）]****◎ 委嘱状交付**

齊藤町長から、委員1名に委嘱状を交付。

**◎ 町長あいさつ**

お忙しい中お集まりいただき、また、日頃より協働のまちづくりに参画いただき感謝申し上げます。

当町の新型コロナワクチン接種は、国からのワクチン供給が少し遅れたが順調に進み、再度広報と防災無線で接種の案内をしている。

本日の議題はまちづくりフォーラムであり、令和2年度は残念ながらコロナの影響で中止となったが、まちづくりは町民の声を聴いて継続していくものであり、私の選挙時のスローガンでもある。

皆さんのまちづくりに対する情熱が反映されることを祈念する。

※齊藤町長退席

**◎ 会長あいさつ**

用務でお疲れのところお集まりいただき感謝申し上げます。新型コロナの感染者はまだまだ減らないところであるが、今日のテーマまちづくりフォーラムについて、皆さんにご意見いただきながら進めていきたい。ご協力お願いしたい。

**[進行：会長]****◎ 自己紹介**

新しく委員となった小栗委員より自己紹介。

**〈議 題〉**

## 1 まちづくりフォーラムについて

事務局より説明。平成31年度までは年2回開催していたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の観点から中止とし、代案として広報紙に上富良野町についてのクイズを掲載した。

今年度も例年どおり12月、2月に一回ずつ開催を予定しているところであるが、明日にでも緊急事態宣言が発令される状況である。平成31年度に行ったグループワークは難しく、講演で講師をオンライン、参加者は会場に集まるような形を検討している。講師については、上富良野町と地域連携協定を結んでいる北海道科学大学、平成31年度にも講師をお願いしたNPOファシリテーションきたのわを資料に掲載している。

人数を集めることが可能で、オンラインの環境があるのはかみん大ホールのみとなる。大ホールではワクチン接種が行われており、近々集団接種は終了する予定であるが、状況により3回目の接種が行われる可能性もある。講演を行うにあたり会場が使えるかどうか未定であり、12月開催に向けて進めるべきか委員の皆さんの意見をうかがいたい。

委員：コロナ禍で対話する環境を作りにくくなっている今だからこそ、やれる方法でやるのがまちづくりの一つではないか。オンラインに抵抗がある人もいるが、取り入れていくことは今後必要不可欠であると思う。

NPOファシリテーションきたのわのオンライン講座に参加したことがあり、とても良かった。

委員：自宅からオンラインで会議などに参加したが、自分一人で画面に向かうだけでなく数人で操作が分かる人と一緒にやることができる。良くあるのは何をしゃべっているのかただ聞きたい人が耳だけ参加するという。町がどういうことをしているのか若い人に知ってもらい、操作が分からない人にも体験してもらい機会になる。

委員：時代に沿っていかねばいけないと感じる。オンラインでやるのも一つの方法である。

委員：かみんが使用できるかどうかにもよるのではないかな。

会長：公民館は使用できないかな。

事務局：公民館の大ホールはwifiが通っておらず、オンライン環境が整っていない。

委員：ポケットwifiなどを借りての使用はどうか。1、2日ならそこまで金額はかからない。この機会にwifiを通すというのも方法である。それか個人開催、また小さいホールで行うことも検討してはどうか。

委員：まちづくりフォーラムを開催しても、参加する人が同じになってくるのではないかと感じる。商工会青年部やかみふらのマルシェなどいろいろな団体と協力すれば、関連した人達も参加して人数が増えるのではないかな。講師も濱谷先生（科学大学）プラス町民の誰かとなると、接点のある人達が参加してくれるのではないかなと思う。せつかくやるなら少しでも参加人数が多いほうが良く、興味ない人にも興味をもってもらえれば、オンラインでもオンラインじゃなくても良いのではないかな。

委員：基本的にはやる前提で進めて、12月にできなかったとしても2月にできる可能性もある。

委員：オンラインでやるのは一つの方法であり、先ほどの発言の通り各団体の力を借りたら参加人数も増えるのではないかなと思う。

委員：とりあえずやる方向で進めて、その時のコロナの状況にもよるが、オンラインなら

人数が一度に集まるわけでもなく可能かと思う。仮にワクチンが全員に行き渡ったとしても、まだ人が集まるのは危険な気はする。時期をずらすなりやり方を変えるなどは必要になるかもしれないが協議は進めていくべきかと思う。

委員：実施の方向で進めていくのはいいと思うが、全町民のワクチン接種率が75～80%になったら実施したい。自分も住民会やスポーツ協会などに携わっているが、年内は活動停止としており、1月以降活動することで話を進めている。慎重に検討し進めていく必要があると思う。

委員：人が集まったのフォーラムではなく、まちづくりの会議といったものはどうか。委員会が主催で、色々な組織の人がまちづくりについてオンラインで話をする。日時を周知し、話を聞いてもらうことは可能ではないか。会場に行かなくても家で聞くことができるから参加しやすい。

会長：町民同士でトークするよりも、会議などを行っている様子を聞きたい、見たい人は呼びかけをすれば集まるのではないかと思う。何か話さなければならないわけではないので参加しやすい。

委員：町長候補者のYoutube配信時に携わったが、最初は会場で行う予定だったが、コロナの観点から各家庭で見られるように変更した。たくさんの人が視聴し、個人で見ると人もいれば、声を掛け合って何人かで一緒に見たといったことを聞き、人と人とのつながりを感じた。もちろん、会場で人を集めての開催も人数やコロナ対策をしっかりすれば可能ではないかと思う。

会長：委員の発言にあったが、各団体と協力していくには、実行委員会を作るなどして実現化に向けていかなければ、この会議だけで開催までもっていくのはなかなか難しい。

委員：商工会の会議の時にこの話をする。商工会も同じようにまちづくりについて思いを持っているので参加する役員はでてくると思う。

会長：商工会や農業関係の方も同じ思いでいるかと思う。実際農業が進化していることを多くの人知らない。知る事で見方が変わってくると思う。

委員：各団体が取り組んでいることをオンラインで発信できるのが理想である。

会長：1回目は町民の意見を聞くよりもPRの場にしても良い。そういったことはフォーラムになるか。

事務局：まちづくりフォーラムは、協働のまちづくりというものが何かを知ってもらう為のものである。それとはまた違った何かをするのも一つの方法であるが、方向性を決めて行かなくてはならない。

会長：何をするのももう少し考えていきたい。個人的にはフォーラムを2回やることにこだわる必要はないのではないかと思う。周知して参加者を集めることができれば1回でも良いのではないか。

委員：オンラインで開催となれば少数でも良いが、講師を呼んで会場での開催となるとある程度人数は集めなくてはならない。そこで1回の開催となると、人数が集中してしまう懸念がある。

会長：会場に集まることはせず、オンラインで検討したい。講師の話をオンラインで聞くだけならやりやすい。オンラインで協議するとなった場合、委員会での会議のように一人一人に話をふるような形は出来るのか。

- 委員：大本のPCで操作し、オンライン上でグループを分けることも可能である。
- 委員：5月に公民館で商工会の総会があり、40人ほどが集まり1時間弱行った。12月ごろの状況はまだ分からないが、公民館ほどの広さがあればオンラインにこだわらなくても、会場で人を集めて間隔をおいての開催ができるのではないかと。意見があるときはマイクを消毒しながら使用する。
- 委員：参加者の意見をまとめる時間もあれば良い。アンケートをとるのも一つの方法。
- 委員：終わった内容をあとで見られるようにしたい。
- 委員：講師の招致は可能なのか。
- 事務局：現状のまま何もなければ可能。規制されればこちらから招致するべきではない。12月をめざしてやるとなると、テーマによって呼ぶ先生が変わってくる。方向性は次回(10月)予定している会議までに決めなければならない。
- 委員：全委員で集まるのは難しいかと思う。集まれる人である程度テーマを絞った段階で次回会議前に資料を配布し、決めていく形はどうか。
- 事務局：緊急事態宣言が発令されると集まることができないので書面での意見集約となる。
- 委員：10月の会議までにどんなテーマが良いか事務局に意見を集めて、事務局だけでなく意見を精査するグループを何人かで作るのはどうか。アンケートの中で集まれる人を聞いても良い。
- 事務局：当初の予定では10月会議となっているが特段10月でなければいけないことはなく、それ以前に委員が集まれる日程があれば、集めた意見を会議で話し合うことも可能である。12月開催を延期することも一つである。
- 会長：事務局に文書を出してもらい、意見を集約し、遅くとも9月の下旬には集まれる委員で精査する形で良いか。会場について、かみんはワクチン接種の状況がどうなっていくかわからないため、公民館を使用することを前提に進めていくことでよろしいか。
- 全委員：了承する。
- 委員：会場で開催したときに、選択肢が広がることは良いので、ライブで見るのか、後で見るのかは分からないが、配信する環境を整えることは良いと思う。
- 事務局：講師によっては、会場限りでしか視聴できない可能性もある。
- 会長：講師の条件が合えば検討する。

## 2 その他

協働のまちづくり推進補助金の募集を4月中に行ったが、盆踊りなどのイベントがコロナ禍で断念され、補助の枠ができた部分について明日発行の広報紙と今後防災無線で、追加募集を周知する旨を事務局より説明。

### 次回会議について

次回会議は、後日事務局から委員に日程調整の連絡を行う。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページで公開】